



JOY明日への息吹 我が名に負けないように

個人にはそれぞれに名前（呼び名）があります。ついでに。名無しの権兵衛はおりません。同様に、法人にも、夫々の働きを象徴するような名前がついています。「JOY明日への息吹」もそうです。

最初われわれが名乗っていたのは、「JOY倶楽部」でした。JOYは「命の喜び」「生ける喜び」。これにさらに幾つかの思いが加わって、今の『JOY明日への息吹』になりました。名前の変遷にも我々の歴史があり、加わって来た人生の生の思いがあります。

どのような状況にあっても、誰にでも待つ（抱く）ことのできるものがあるとすれば、それは何でしょう。変な政治屋が言ったように金目ではないとすれば何でしょう？

そんなものがあるはずがない、夢のようなことを言うなど笑われてもやはりそれはあって欲しい。誰でもが持とうと思えば持てるもの。それは『希望』だろうと思います。

希望は過去にはありません。希望は今日から明日以降の将来に向かって在る、前向きのものです。我々の名前に「明日へ」が加わった意味も、JOYが常に持ち続けて来た『明日への希望』があるからです。

さらにそこにあるのは、どんなに優れていても無味乾燥な制度や仕組みや組織ではありません。生きとし生ける者を刻々支えて来た命あふれるダイナミックな”息吹“です。

「希望に満ちた喜び、JOY。」これが創めでしたが、この世には一三八億年前のビッグバン以来、未だに混沌を抜けきれない心のカオスがみなぎっています。

利用者メンバー一人一人の目をしっかり見つめて、その瞳にキラリと光る希望に託して日より明るい明日へ向かって行きましょう。 “ JOY明日への息吹 ” の我が名に負けないように。

法人監事 鈴木 伸